

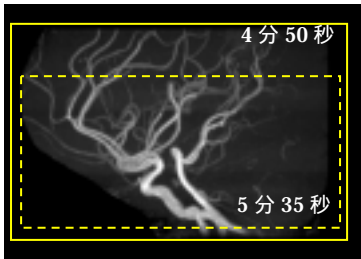
特集

MRI：最新技術に期待

当院では2008年5月、MRI装置をグレードアップしました。MRIは被ばくがなく安全性が高いという事で普及してきましたが、今回の新装置の導入により、病気の発見にとってMRIがますます重要な役割を果たすものと期待しています。



最新トピックス  
新型MRI運用始まる



検査時間の短縮、画質の向上

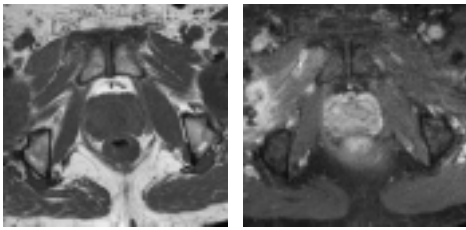
以前と比較して高速・広範囲の検査が行えるようになりました。高感度のセンサーにより体内から多くの信号を受信しやすくなった結果、検査時間は短縮でき、画質も向上しました。

左図は特別な薬剤などを注射しないで撮像された頭部MRAの画像（脳動脈血管画像）です。以前の画像と比較し時間は短縮でき広範囲で画質も向上しました。MRIは「検査中大きな音がしてうるさい」というのが短所でしたが、以前よりうるさくなくなりました。検査中はキーンという高音がします。検査部位にもよりますが検査は耳栓をお渡ししてから検査を受けていただくようお願いしています。ご迷惑をおかけいたしますがご了承ください。

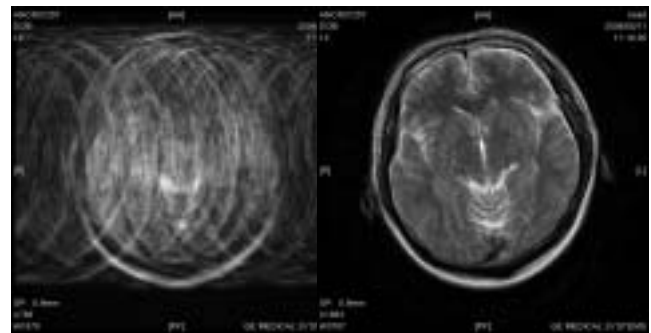
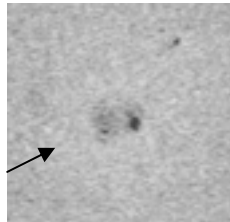
動きに強い

MRIは体動に非常に弱く、撮像中に体を動かしてしまうと画像もブレてしまうのですが、この撮像ではどんなに動いても画像が止まっているような画像として描出できます。ただし、頭部領域のみの使用になります。

腫瘍の場所だけを表示する最新技術  
全身の拡散強調像が可能に！



造影剤なし 造影  
従来のMRI検査方法では腫瘍位置は造影検査で調べるのが一般的でした。  
拡散強調像では腫瘍の場所だけが表示されます。



(動きのある画像)

(補正された画像)

30歳をすぎたら、

乳がん意識を高めてください。

日本の女性のかかるがんのうち、最も多いのが乳がんです。

統計によれば、30歳をすぎたころから発症する人がぐんと増え始め、

40台なかばを迎える頃にはピークが訪れます。

女性が最も忙しくしている時期こそ**要注意！！**

しかし、マンモグラフィー検診の受診率はまだ約13%

乳がんは、早期発見・早期治療ができれば、治る確率の高い病気です。

マンモグラフィー検診を  
定期的に受けましょう。

